

# 伊奈町新庁舎建設特別委員会

令和6年11月28日（木曜日）

1. 招集年月日

令和6年11月28日(木)

2. 場所

全員協議会室

3. 開会・閉会等時刻

◎開会 午前 9時30分

休憩 午前 9時33分

再開 午前 9時33分

休憩 午前 9時50分

再開 午前 9時50分

休憩 午前10時02分

再開 午前10時03分

休憩 午前10時42分

再開 午前10時47分

休憩 午前10時49分

再開 午前10時50分

◎閉会 午前10時51分

4. 出席委員名

委員長 上野尚徳

副委員長 青木久男

委員 富井篤弥、仲島雄大、木俣美千代、高橋まゆみ、栗原恵子、藤原義春、五味雅美

議長 佐藤弘一

議員 川内雅人、武藤倫雄、山野智彦、大野興一、戸張光枝、大沢淳

5. 欠席委員氏名

なし

6. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局長 森田範仁 局長補佐 沼田美由紀

7. 説明のため出席した者の職・氏名

町長 大島 清

副町長 秋葉 宏和

企画総務統括監 秋山雄一、都市建設統括監 中本雅博、教育次長 小林薫子、企画課長 澤田勝、企画課主幹 猪俣範綱、DX推進・新庁舎整備室長 瀬口悦史

開会 午前 9時30分

○上野尚徳委員長 本日は、定例会のまっただ中にご参集いただきましてありがとうございます。

新庁舎建設につきましても、事業者が決定して、これから本格的に進んでいくことになるかと思えます。そういった中で、今日は、執行部から議会フロアについての説明があるということで、多くの議員の皆様が集まってくださいました。委員の賛同を得てという形になりますけれども、委員外議員の皆様にも積極的にお話を伺えればと思っております。

また、こちらも委員の賛同を得てになるんですけれども、今回の話が効率的にニュアンスまで伝わるような形を取りたいと思ひまして、参考人の、設計施工に携わる方の参考人としての出席も後ほど求めたいと思ひますので、ご理解よろしくお願ひいたします。

ただいまから新庁舎建設特別委員会を開会いたします。

本日、町民の方から本委員会を傍聴したい申出は今のところありません。伊奈町議会委員会条例第17条の規定に基づき、申出があった場合は許可したいと思ひますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 異議なしと認め、許可することに決定いたします。

本日の議事内容は、新庁舎整備事業に伴う議会エリアの検討事項でございますので、新庁舎建設特別委員会の委員に加え、伊奈町議会会議規則第68条第1項の規定により、委員外議員の皆様にご出席いただいておりますことをご報告いたします。

また、委員外議員の発言について許可したいと思ひますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 異議なしと認め、許可することと決定いたします。

次に、議事に入る前にお諮りいたします。伊奈町議会委員会条例第26条の2の規定により、参考人の出席を求め、意見をお聞きしたいと思ひます。

なお、参考人におかれましては、説明のための電子機器の持込みを許可したいと思ひますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 異議なしと認め、参考人の出席を許可することに決定いたします。

それでは、ここで参考人の入席をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時33分

再開 午前 9時33分

○上野尚徳委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

参考人として、株式会社佐藤総合計画、牛込具之様、同じく小塩剛生様、株式会社山下P MC、稲津知幾様、以上3名の方にご出席いただきました。ご意見をお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、参考人は、質疑に対して発言する際は、必ず挙手をして、指名されてからご発言ください。

また、発言の際は、その都度、冒頭に会社名及び氏名を述べてご発言いただきますようお願いいたします。

また、議員に対し、質疑をすることができないことになっておりますので、あらかじめご了承ください。

それでは、議事に入ります。

初めに、進捗状況について、執行部よりお願いいたします。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史D X推進・新庁舎整備室長 D X推進・新庁舎整備室の瀬口でございます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

着座にて失礼いたします。

それでは、次第に沿いまして、現在の新庁舎整備に関する進捗状況等についてご報告申し上げます。

初めに、次第2、議事1、進捗状況についてでございますが、資料1、進捗状況についてをご覧ください。

進捗状況の表でございますが、9月に議決をいただきました事業契約の締結について以降のものとしております。グレーの網かけ部分は既に実施済みのもので、網かけのない部分につきましては、これから実施するものとなっております。

令和6年9月18日の事業契約の締結を経まして、令和6年9月26日、第1回プロジェクト会議を開催いたしました。

続きまして、令和6年10月3日、第1回の定例会を開催しております。

10月10日に第2回定例会を開催、同日に第2回プロジェクト会議も開催しております。

10月17日に第3回プロジェクト会議開催、10月24日に第3回定例会を開催、10月31日に第4回プロジェクト会議を開催、11月7日に第4回定例会を開催、11月9日に第1回町民ワークショップを開催、11月14日に第5回プロジェクト会議を開催、11月15日に分科会を開催、こちらは電気設備、機械設備のものでございます。11月21日に第5回定例会を開催しております。

以降、令和6年内での会議の予定でございます。

本日、11月28日、この後、第6回のプロジェクト会議を開催予定でございます。

続きまして、12月5日、第6回定例会を開催予定でございます。

12月7日、第2回町民ワークショップ開催予定でございます。

12月19日、さいたま市大宮区役所、こちらを視察の予定でございます。このほかにも、随時必要に応じて各種会議を開催する予定となっております。

以降は、主な事業予定でございます。

令和7年3月下旬に基本設計業務完了予定でございます。

令和7年4月上旬に実施設計業務着手の予定でございます。

令和8年1月中旬に実施設計業務完了の予定でございます。

令和8年1月中旬に新庁舎・別棟工事が着手の予定でございます。

ページをめくっていただきまして、令和9年8月31日、新庁舎・別棟引渡し予定でございます。

令和10年1月上旬、新庁舎・別棟開庁予定でございます。

令和10年1月上旬、こちら、新庁舎・別棟開庁と併せまして、既存庁舎解体・外構工事を着手予定でございます。

最後に、令和10年8月31日に駐車場・外構工事が竣工引渡しで、全ての事業が完了の予定となっております。

なお、本事業の実施に係る会議体といたしまして、定例会につきましては、全体の進捗の共有、確認事項の共有等、本事業参画者全体に関する事項を議題とし、施工担当の佐藤工業、設計担当の佐藤総合計画、CM事業者の山下PMCが参加し、おおむね2週間に1回開催し、協議を進めております。

プロジェクト会議につきましては、事業の進捗に関する議題をCM事業者、山下PMCと

定例会のない週に開催し、協議を進めております。

分科会につきましては、建築、構造、電機、機械、システムの各分野の個別議題につきまして、設計施工、CM等の各事業者間で原則開催し、その協議内容につきまして定例会で報告されるものとなっております。

説明は以上でございます。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

ただいまの進捗状況についてのご質問はありますか。

富井委員。

○富井篤弥委員 私からは2点ございます。

町民ワークショップ、第1回目が11月9日に行われたと思うんですけども、こちらのテーマが、「庁舎と図書館が融合する場はどんな使い方ができるか考えよう」というものでした。こちらにつきまして、開催の状況が1点目と、あと、実際にどのようなご意見が出たのか、これ2点目、伺えればと思います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 町民ワークショップでございますが、11月9日に第1回を開催いたしまして、参加者につきましては14名でございます。

こちらのグループワークのテーマですが、「庁舎と図書館が融合する場はどんな使い方ができるか考えよう」ということですが、主な意見としましては、全体の空間に対しての部分のご意見として、おしゃれな家具であるとか、ベビーカー置場、ベビーカーのまま入れるスペース、あと幅広い年代でも入りやすい空間というようなご意見をいただいています。

あと、庁舎と図書館が融合する場という部分につきましては、欲しいスペースの部分でございますが、勉強スペースであるとか、休憩スペース、そういった部分をご意見としていただいております。子供向けのスペースとしましては、子供が遊べるスペースが欲しいという部分とか、お話会、読み聞かせのコーナー、そういったものが欲しいというようなご意見を頂戴しております。

主な意見としては、こういうものをいただいております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 詳しくありがとうございます。

14名参加とのことでしたけれども、年代として、どういう方がご参加されたか伺えればと思います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちら14名ですが、年代別ですと、10代が1名、20代が1名、30代が3名、40代が2名、50代が7名となっております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 ありがとうございます。幅広い年代の方が町民ワークショップに参加されたということで、とてもいいことだと思います。

私からは以上です。

○上野尚徳委員長 ほかにありませんか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 発言がございませんので、次に移ります。

次に、全体スケジュールについて、執行部よりお願いいたします。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 続きまして、次第2、議事(2)全体スケジュールについてでございます。

資料2の全体スケジュール、こちらをご覧ください。

現時点での本事業の全体スケジュールでございます。今後の事業予定、全体スケジュールを図示したものでございます。

主な今後の予定は、先ほど進捗状況でもお話しさせていただきましたことと、前回までにお示ししたスケジュールと大きな変更等はございませんので、詳細の説明は今回省略とさせていただきますと存じます。

説明は以上でございます。

○上野尚徳委員長 ただいまの報告について、ご質問はございませんか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 発言がございませんので、次に移ります。

次に、伊奈町役場新庁舎整備事業に伴う議会エリアの検討事項について、執行部よりお願いいたします。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 それでは、続きまして、次第(3)伊奈町役場新庁舎整備事業に伴う議会エリアの検討事項についてでございます。

資料3をご覧ください。

現在、新庁舎整備における基本設計を作成中でございます。議会エリアにつきまして、議員の皆様にご検討していただきたい事項がございますので、そちらのご説明とさせていただきます。

新庁舎整備における議会エリアの平面図面になります。資料3ページの図面の左下をご覧ください。

ご検討いただきたい事項は3点ございます。

初めに、検討事項1としまして、議場内部のレイアウト案について、既存議場の配席を踏襲した発言台のレイアウト1案と、議員席側にも発言台を置く2案のどちらのレイアウト案が望ましいか、議員の皆様にご検討をお願いしたいものでございます。

次に、検討事項2の議場内の傍聴席についてでございます。傍聴席から見やすさやバリアフリーの配慮、こちらを両立させて、議場のレベルから傍聴席を20センチメートルから30センチメートル高く設定する案とさせていただきます。この傍聴席の高さ、こちらについての検討をお願いしたいものでございます。

次に、検討事項3でございますが、セキュリティーと主な動線の考え方についてでございます。図面の中央のピンク色の点線内部が議員のセキュリティーエリア、こちらの範囲として現在検討しております。議員の皆様には、出入口1、または出入口2よりセキュリティーエリア内に入りしていただく案となっております。また、議場へのアクセスは、出入口3、こちらを案として検討しております。セキュリティー範囲と動線計画、こちらについてのご検討をお願いしたいものとなっております。

3ページの資料は以上となります。

次に、資料4ページとなります。

基本設計から実施設計に係る設計スケジュール予定の表となっております。表中の設計工程、議会エリアの欄、こちらをご覧ください。

今回、検討事項、お願いしたものが、段階1となっております。先ほどご説明させていただきました段階1の検討内容が済みますと、段階2の検討、段階3の検討と進めさせていただきますと考えております。

今回の段階1の検討事項につきまして、資料5ページ目に回答シートの様式を作成させていただきましたので、議員の皆様、こちらをご検討いただきまして、事務局にご提出いただきまして、議会として取りまとめのご検討をよろしくお願いしたいと存じます。議員の皆様とは、このような段階のやり取りをいただきまして、順次設計に反映させていただきたいと



考えております。お忙しいところ大変恐縮ですが、今回の設計スケジュールの都合上、本定例会の最終日までにご回答を頂戴したいと存じますので、よろしく願いいたします。

以上で当室からの説明を終わります。

○上野尚徳委員長 続いて。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 続きまして、参考人から、議会のフロアの配置のコンセプト等について追加説明をさせていただきたいのですが、参考人からの発言の許可をいただいでよろしいでしょうか。

○上野尚徳委員長 株式会社佐藤総合計画、小塩剛生様、お願いします。

○小塩剛生氏 佐藤総合計画の、私、小塩と申します。ご説明をさせていただきます。

すみません、着座にて失礼いたします。

今回、議会フロアを資料の3ページ目になるんですけども、1つのフロア、4階に当たるんですけども、4階のフロアにまとめて設けさせていただいているというのが、まずメインのコンセプトというか、考え方になります。そのほかは、機能としては、議会フロアがメインのフロアというところで、庁舎自体で分かりやすい、行きやすいというところをメインとしております。

また、現在の伊奈町役場では、セキュリティーが共用の部分から直接アクセスするようになっているのですが、ほかの自治体の最新の庁舎も見ながら、セキュリティーを議員のエリアの中に入れるような形で、議員のセキュリティーの中から議場にアクセスできるような、動線計画のほうを計画させていただいているのが、今の図面のメインの趣旨になります。

以上になります。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

ただいまの報告について、ご質問を受けたいと思います。

たくさんの質問が予想されますので、まず、今回出ている検討1から検討3についてを先に伺った後に、全体のコンセプト等についての質問を受けたいと思います。

どうでしょうか、検討1から検討3について、この後アンケートというか、それにも関わ部分ですので、あるようでしたらお願いいたします。そこに関してはいいですか。

では、暫時休憩します。

休憩 午前 9時50分

再開 午前 9時50分

○上野尚徳委員長 休憩を解いて会議を再開いたします。

検討1から検討3について、特に聞きたいところというか……。

武藤議員。

○武藤倫雄議員 検討1につきましては、発言台ということなので、議会側にも欲しいなと思っています。今このイラストにありますとおり、議場の真ん中にぼんと出ているというよりは、議員席の1列目に組み込んだり、より近いところにあたりというところでご検討いただきたいなというのと、あと、今現在の議員の中には車椅子を使用するような議員はいない状態なんですけど、今後そういった方も考えられますので、議員のバリアフリー化にも配慮したような座席配置をお願いしたいなと思っています。

続けて、検討2の傍聴席についてなんですけど、段差が低い、近いというのは全く結構なんですけど、今回、ほかの部屋もそうなんですけど、かなり現状より各部屋が狭くなっているかと思います。その中で、このイラストを見ると、議員のすぐ後ろ、それこそ手か何か届いちゃいそうぐらいの距離になると、セキュリティーの部分が少し懸念されます。

議場の床、以前フラットと検討が進んでいるということで伺っていますので、この議員席を前後直列にしちゃいますと、見通しが利かないという状況になってくるかと思いますので、その辺もご配慮いただければなと思います。

以上です。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

様々ご意見出たので、今すぐ回答できない部分もあると思うんですけども、もし現段階で伝えておきたい部分だとか、回答できる部分がありましたら、お願いいたします。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史D X推進・新庁舎整備室長 武藤議員の今の中で、発言台の部分なんですけれども、今、便宜上、一旦こういう配置というか、図示するに当たってこの位置でさせていただいたんですけども、当然使いやすいような形の位置というのは、また検討させていただきなながら、これから詰めていければと思うんですけども、基本的な配置として、今までどおりの1個だけの発言台なのか、それとも対面式でいいのかという部分で、あと、そのどっちかを決めていただいた中で、実際に発言台の部分については、この位置がより適切だろうという部分に

については、議員のご意見を伺いながら決めていければと思っております。

あと、バリアフリーの配慮なんですけれども、こちらについては、要求水準書のところで、当然バリアフリー化については配慮した形での設計となりますので、そちらについては特に当初から考えている部分でありますので、引き続き検討していきたいと思っております。

先ほどの、傍聴席が近い可能性があって、セキュリティー、議員と傍聴との近い部分についての部分も、適切な距離感というんですか、あとは、柵とか、例えばアクリル板なのか、これからそれも決めていくようになるんですけれども、簡単には議員側には入れないような形で当然造るような形で、これから検証してまいりますので、その辺もまた段階を踏む中で、室内の中とかで検討させていただいて、また議員からご検討させていただいて、こちらの設計に順次反映させていければと考えております。

席の交差とか、その辺も含めて、座席の配置とかは、やはり使っていただく議員のご意見というの、非常に大事かと思っておりますので、今回につきましては、先ほど申し上げましたとおり、基本的な発言台のレイアウトとか、その辺の部分ということにさせていただきまして、席の配置とか、その距離とか、具体的な部分につきましては、次の段階のところでご検討させていただければと思います。

以上です。

○上野尚徳委員長 武藤議員。

○武藤倫雄議員 議事の中中には、手元に非公表の資料なんかがあったりする場合もありますので、そういったところを十分配慮していただければと思つての要望でした。ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

藤原委員。

○藤原義春委員 検討2のところ、傍聴席が20センチメートルから30センチメートルとなっているんですけれども、さっきの柵なり何なりを造った上での話なんですけれども、これ例えば50センチメートルぐらいあったほうが、離れているという感じがあつて、私としてはいいように思うんですけれども、その辺のところはどうなんでしょうか。教えていただければと思います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらの20センチメートルから30センチメートルというのは、床からの高さの部分でお示したもので、議員と傍聴人との離隔というんです

か、その部分はまた別途検討させていただければと思うんですが、そういうご回答でよろしいですかね。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 20センチメートルから30センチメートルと限定されたような感じがあるんですけども、それをもう少し上がるということは考え得るのかどうかということをもとに聞きたいと思いました。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 高さが、すみません、50センチメートルぐらいあったほうが、床からの傍聴人の席の高さが50センチメートルあったほうがというところにつきましても、20センチメートルから30センチメートルというのはこちらからのご提案でありますので、またいろいろ高さの部分の適正、例えば50センチメートルがいいのか、1メートル、高いほうが、当然傍聴人は議員が見やすいという部分にはなってくるかと思うんですけども、今度バリアフリー化の部分で、スロープがきつくなってしまうとか、そういった影響も出てくるかと思しますので、ご意見としていただいて、適切な部分については、これからいろいろ検討させていただければと思います。

以上です。

○上野尚徳委員長 企画総務統括監。

○秋山雄一企画総務統括監 今回ご提案した20センチメートルから30センチメートルというのは、昨今庁舎を建てた他市事例が、このぐらいが多かったというのもございます。取りあえず参考として明記したので、先ほど委員からご意見のあった、50センチメートルがよかろうという議員の統一したご回答であれば、それは構造的にも検討できるかなと思いますので、20センチメートル、30センチメートルというのは昨今のトレンドの高さというんでしょうか、そのような解釈でよろしいのかなと思います。

以上です。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 私は、20センチメートルから30センチメートルで、傍聴席と議員側が近い感覚は、ある程度は理解できるんですけども、リスクといった面では、傍聴席の人と議員があまり近いと、万が一何かあったりとかしやすくないかと思って、いろいろ考えてほしいなと思って発言した次第です。

〔「ちょっといいですか、整理して」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 企画総務統括監。

○秋山雄一企画総務統括監 今回の委員のご発言なんですけれども、高さや距離と、どちらでしょうか。議員席と傍聴人席との距離か、傍聴席が地面からどのぐらい高いかの、どちら側のご意見でしょうか。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 傍聴席と議員席とで、要は柵とかがきっちりできていれば20センチメートルから30センチメートルでもいいんですけれども、離れるためには、やはりもう少し高さがあったほうがいいんじゃないかなと思ったんで、検討してほしいということで申し上げました。

○上野尚徳委員長 ただいま意見もろもろ出ているんですけれども、この場で決定することではなく、今、藤原委員からもありましたけれども、検討の中に入れていただきたいという趣旨だと思いますので、その辺また持ち帰って検討していただければよいのかなと思います。

このアンケートに関しましては、頂いた後に、また再度、新庁舎建設特別委員会を開催して、その場で、その結果を踏まえてまた練りたいと思っております。今回は、ご意見を広くいただきながら、趣旨を分かっていたきたいという意味での委員会であるということをご理解いただければと思います。

藤原委員、そういった意味での提案というか、検討していただきたいということによろしいですか。

ほかに、執行部、大丈夫ですか。

ほかにありますか。

仲島委員。

○仲島雄大委員 今回の20センチメートルから30センチメートルの話なんですけれども、トレンドという言葉が出てきたんですけれども、何かの基準が多分あると思うんですよね。20センチメートルから30センチメートルというのは、何を基準にして、根拠になって出てきているのか、それを私たち知りたいものですから、教えていただければと思います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらの基準なんですけれども、共用部分のロビーから、傍聴人が緑の矢印で傍聴席に入っていくんですけれども、ここがスロープになっております。福祉のまちづくり条例で、12分の1という勾配で決められている部分がございますので、段差の設定をさせていただいたものでございます。

○上野尚徳委員長 仲島委員。

○仲島雄大委員 ありがとうございます。

私が実際確認すればいいんですけども、今の議場って段差が少しあるじゃないですか。あれって何センチメートルぐらいなんですかね。

○上野尚徳委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時02分

再開 午前10時03分

○上野尚徳委員長 休憩を解き、会議を再開いたします。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史D X推進・新庁舎整備室長 では、議場の段差ということなんですけれども、実測で15センチメートルでございました。

○上野尚徳委員長 仲島委員。

○仲島雄大委員 イメージができました。ありがとうございます。すみませんでした。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

栗原委員。

○栗原恵子委員 議場内なんですけど、床はフラットでということになっているかと思いますが、議員席のところ、1列目と2列目がどうしてもフラットにするとかぶってしまうということで、私からの提案なんですけど、これを、家具の高さを、前列と2列目の高さを少し、椅子、机の高さを変えるというようなことができればと思って、提案をさせていただきます。

○上野尚徳委員長 提案ということだけでよろしいですか。

補足で何か話したいこと……。

〔「でも、この1から3ではないんですよ」「1、2、3の話ではないんですよ。

1、2、3の話ですよ、今」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 今、そうですね。では、また後ほど、そうしたら、違う席でお願いします。

ほかにありますか。

青木副委員長。

○青木久男副委員長 この図面を見させていただきまして、どちらにするのかということで、

①案と②案が示されております。ここの違いは何かというと、質問席があるかないかということだと思っうんですね。それで、左側の1案は、我々、特に一般質問するとき、最初に壇上で議員席、傍聴席に向かって質問をするという形になっております。これはすばらしいやり方だと思います。国会でもみんなそうだと思います。それで、答弁を聞くときには議席に戻る、現在ですよ。それで、議席で質問をする。座るなり立つなり、それはやり方でございますけれども、あるいはまた、いろんな反対意見だの賛成意見等を述べるときも、自席というわけにはいきませんので、壇上で、この左側のような席に向かって発言すると思っうんですね。このやり方が、私は本当なのかなと思います。

それで、この2つの席というのは、どちらかという、最初の質問とか反対討論とか、そういうような、賛成討論も含めて、いうときは、この手前の席でやると。それで、これ一般質問用の席なのかなと思っうんですけれども、どう使われるかはともかくとして、私、先ほどから少し疑問に思っているのは、ここはもともとフラットで、多目的に使えるもの、スペースだと理解しているんですね。ですから、このテーブル、発言席が2つ、1つというのは、動かせるものですから、あんまりこの議論は意味ないのかなと思っうんですけれども、いかがですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 発言台の数の部分というか、運用面とかもいろいろあると思っうんですけれども、発言台の数の部分は、設計等、これから数の部分で調達に反映してきますので、移動式なので、いろいろなところにも配置はできるようなものになって、一番使いやすいようなところに後から動かすということも当然可能かと思いますが、現時点では、少し数を確定させていただいて、こちらを設計に反映させていただければと考えております。なので、運用方法とか、その辺につきましては、またいろいろご検討いただいた形で、よりよいものができればと考えております。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 我々の当初町に出した案というのは、床はフラットである。多目的に使える。ほかの、例えば災害があったときに使うとか、あるいは、あんまりないと思っうんですけれども、どうしてもその席を、こういう広い場所を使うというのに、ほかの場所よりここが便利だといえば、それは自由に使えると。その場合に、椅子であるとか座席とかは動かせなけりゃ意味がないんで、それはどこかに収納するのかなと思っうんですけれども、そういうようなスペースというのは、この議場から見て右奥の倉庫、そういうところを想定しておるの

か伺います。

[発言する人あり]

○上野尚徳委員長 回答をいただけますか。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X推進・新庁舎整備室長 この家具、移動式の家具とすることによって、何かあったときにフラットスペースとして議場を使えるという部分についての収納の部分ですが、その専用のスペースという部分については、現段階では、この倉庫というのがあります。そちらにしまえるものはしまって、ただ、全部しまえるかどうかまでの部分については、まだ検討がされていないような状態でございますので、その辺について、またこれから検討していきたいと思っております。

○上野尚徳委員長 まず、今、現段階で、検討1から3の今回回答してもらう部分のことについて、今、質問の時間を取りました。この先の部分で、また重複しても構わないので、一旦ここはここで切らせていただいて、それでは、全般についての質問等に移らせていただきたいと思えます。

[「セキュリティはやらないの」と言う人あり]

○上野尚徳委員長 出なかった。

[「じゃ、ちょっと聞いたほうがいいよ」と言う人あり]

○上野尚徳委員長 では、移る前に、ほかに検討1、検討2、検討3の件に関しまして質問ある方、いらっしゃいますか。

富井委員。

○富井篤弥委員 セキュリティというか、防災に関してなんですけれども、これ、この検討1から3に入っているかどうか分からないんですけれども、傍聴席と議場というのは、完全に分断されているような構造を想定されているのでしょうか。

[発言する人あり]

○上野尚徳委員長 D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X推進・新庁舎整備室長 傍聴席と議員がお座りになっている議場のフロアの部分につきましては、完全に分断された状態で、議場の中を通じて行き来ができるようにはしない予定です。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 続けていいですかね。



○上野尚徳委員長 どうでしょうか。明らかに1、2、3に関わる……

○富井篤弥委員 少し違いますよね。

○上野尚徳委員長 重複する部分に関しては、次で両方まとめてやっていただいても結構です。

○富井篤弥委員 では、次で、またそれで……

○上野尚徳委員長 よろしいですか。

○富井篤弥委員 では、今のところは、これで大丈夫です。

○上野尚徳委員長 では、全体としてご意見等、質問ある方いらっしゃいましたらお願いいたします。

富井委員。

○富井篤弥委員 では、続けて質問させていただきます。

今、傍聴席と議場は完全に分断されるという話でした。今の議場というのは、3か所出入口があるんですよね。左側と、議員から見て左側で、真後ろで、あと一番奥とで3か所ありまして、こちらの案ですと、今のご答弁ですと、2つしか出入口がないということで、災害が起きたときに少し心配があるなということで、一応ふだんは傍聴席と議場は閉じられているんですけども、何か災害があった際は傍聴席からも避難できるような形にしたほうがよいのではと思うのですけれども、ご意見をお願いいたします。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 現在の議場、3か所開口部があるという部分で、避難が速やかにできるというところではあるかと思います。この検討につきましても、2か所、一応開いて、2方向避難ができるという部分になりますので、現状では避難もスムーズにできるのではないかと考えての設計なんでございますが、富井委員がおっしゃったような傍聴人からもという部分についても、一つ検討の材料とはなるかと思いますので、その辺も、いただいたご意見として、こちらも検討させていただければと思います。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 よろしく申し上げます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

川内議員。

○川内雅人議員 先ほどは失礼しました。検討1、2、3と段階1、2、3を読み間違えていました。途中まで申し上げたんですが、議場に説明資料を投影できるようなディスプレイの設置とかというのは、今の段階でお伺いしているものなのか、段階1、2、3の、改めたほ

うがよろしいのか、お伺いできれば。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 要求水準で、既にタブレットや大型モニター等の活用で、そういったシステムという部分については、いただいております。当然それに基づいて設計ということなんですけれども、詳細な部分につきましては、今、設計とのお話の中では、段階3の中で決めていきたいと思っておりますので、今しばらくお時間をいただければと思います。

○川内雅人議員 ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

では、委員からいきますか。

〔「いいよ」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 山野議員。

○山野智彦議員 今のモニターで補足なんですけれども、議会では、傍聴者に分かりやすい質問のやり取りということを目指して、一問一答式に変えてきたり、あと、資料も持込みができるようにしたという経緯があります。なので、モニターは、傍聴席の人からも見えるようなモニターである必要がありますし、議員や執行部からも見えるような大型モニターが望ましいと考えておりますので、そこを補足したいと思います。

○上野尚徳委員長 よろしいですか。何か回答を求めますか。

○山野智彦議員 何かあれば、あれですけれども。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 ご要望として承りましたので、そちらは検討させていただくという形で、考えます。

○山野智彦議員 今日この場は、この図面を見て、議員としては、使い勝手とかいろんなことを考えると、こういうほうがいいのではないかなということを発言できる機会と考えておりますので、ありがたく思っております。

2点目は、事務局のところなんですけれども、事務局のところの左下に議員更衣室があって、その左に議会倉庫というふうな、今一応、レイアウトになっております。結構議会倉庫が広くて、事務局が狭いんですね。我々も事務局で立ち話とか、いろいろ相談とかすることも結構ありますので、事務局のスペースはもう少しあっていいのかなと。そう考えると、倉庫と更衣室を左右入れ替えて、倉庫を完全に天井まで区切るのではなく、何か移動式のパ

ーテーションみたいな、そういうふうな形にして、倉庫の量に応じて可変できるような、そういうことも考えてもいいのかなと思いますので、これもご要望ですが、どうでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 議会事務局のスペースが現行よりも少し狭くなったという部分につきましては、今回、隣の共用部屋、相談用の部屋というのもご用意させていただいている部分がありまして、そちらもご活用いただければという部分もあります。

あと、本質的に、事務局のスペース、こちらが狭いという部分につきましては、現段階でこういう形で線は引いておりますが、山野議員おっしゃったような形という部分も検討することは、今の段階では可能ではあるので、その辺も検討はできるところではありますが、議会としてのご意見という部分になってくるのかなという気もするんですが、その辺で検討をさせていただきます。

○上野尚徳委員長 山野議員。

○山野智彦議員 事務局の方の意見も聞いていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

あと、最後、3点目ですが、全員協議会のこのレイアウトなんですけれども、現状はこのサークルの部分が縦になっておりまして、議員側と執行部側とが配置できるレイアウトになっているんですね。この図面だと真横になっておりまして、これは、座り方をどのように考えてこういうレイアウトになっているんでしょうかと。やはり縦のサークルになったほうが自然なんですけれども。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらにつきましては、執行部側が座るような席を4列設けているみたいな、今、図面になっておりますが、当然このように、今、現行のように縦長というか、そういった部分の配置もできますので、その辺につきましても検討、図面にも……。今、全員協議会室が51名使うという座席の配置で考えておりますので、その辺を考えると、スペースの有効利用となると、こういう配置と一旦はさせていただいておりますが、運用面の部分では、いろいろ含めて検討させていただければと思います。

○上野尚徳委員長 山野議員。

○山野智彦議員 ありがとうございます。

すみません、もう一個ありました。

議場側のマイクなんですけれども、執行部側で一回一回、答弁席に出て今やっている状態

ではあるんですが、時間が惜しいという場面もあつたりするので、大きな議会ですと、各執行部の発言者の席に全部マイクがあつて、そこで答弁するみたいなこともよくありますが、その辺は何か、これからということですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 私どもも、いろいろな議場とかを見させていただいて、各執行部側、議員の席にマイクがあるパターンもあれば、発言台のところを優先させているような配置もあるかと思います。現行、伊奈町では執行部側にマイクがなくて、移動の時間がかかっているという部分もあります。例えば上尾市とかですと、執行部側にも各席マイクがあつたりとかいう、県議会もそうだったかと思うんですが、そういった部分で、これから議会の運用も含めて、マイクの配置とか、それが、一番皆様が使いやすいような形で考えていければと思います。

○上野尚徳委員長 それでは、大沢議員。

○大沢 淳議員 今回は、制限なくゼロベースから自由に意見を言えるということでしたので、いろいろ思いついたことを言わせていただきます。ただ、急だったんで、会派で相談していませんし、あくまで個人の思いつきだという前提です。もう一つは、限りあるスペースの中での配置というのは当然限界があるのは分かっているんですが、あくまで思いつきということでお聞きいただければと思います。

今、視察にという話もあつたんですけども、新庁舎建設特別委員会でも、ぜひ年明けから議場に特化した施設に行つていただいて、実際の議場をぜひ見ていただけたらいかかなと思つたんで、委員長、ご検討いただければと思います。回答は特に要りません。私も、あくまで思いつきを伝えたいだけなんで、基本的には回答は要らないです。ただ、もし、それどうということとあれば、逆に聞いてもらいたいなということですよ。

1つ目に、全体的にユニバーサルデザインと多目的トイレ、それから、議場は、本会議以外にも使用できるようにフレキシブルな仕様にしていただきたいと。千代田区役所、たしか手がけられたこと、ありますよね。あそこはたしかそうなつていたと思いますので、例えばミニコンサートとか、役所の会議とか、それから町民にも貸出しも含めて、イベントの開催などもできるように、その際、先ほども話がありましたが、基本的に全て可動式の什器にしてくださいということ。

それから、特に本会議場とかの内部ですが、全体に木質系の材料を使つていただいて、当町は横瀬町と提携を結んでいますので、ぜひ横瀬町の県産材をそこで豊富に使つていただき

たい。

次に、執行部席、それから議員側の議席、どちらも議席にマイクを設置する。その場で質問、答弁ができるように、実際に質問席を置くか、答弁席を使うかどうかは別にして、つけておけば後で自由に選択できますので、それから、議場の配置なんですけど、今の配置ではなくて、今の配置でいうと、執行部席があって、対面して議席があります。傍聴席、後ろではなくて横に置いて、両方見られるように、議長席が傍聴席の反対ということ、そういうスタイル、英国式とかというらしいんですけども、4方向にそれぞれが見えるような形があるようなので、それをご検討いただきたいということです。

それから、この平面図を見て、執行部の待機スペースは十分なのかなと思ったんで、少し考えていただければと思います。いっぱいぞろぞろ待っているじゃないですか、いつも。それがそんなに必要なのかなというのもあるけれども、どこで待機するのかなというのは、少し疑問に思ったんで、ここまでで何か言っていることが分からないところありますか。言っていることは分かる。

○上野尚徳委員長 大丈夫ですか。では、続けてください。

○大沢 淳議員 次に、全員協議会室と議場が離れ過ぎていて、全体的な動線としてどうなのかなというのを思いました。大きい話なんで、取りあえず言うだけ言っておきます。

それから、トイレが議会事務局と議員控室の出入口にもう少し近いほうがいいかなと思いました。

それから、傍聴席ですけども、ヒアリンググループの設置を前提としていただきたいし、それから、車椅子スペースもやはり広く余裕を持って取って、あらゆる障害を有する人への対応等と、最近、親子傍聴席ってあるみたいですので、それも少し、それから、あと採決表示システムですね。ボタンで押して、誰が賛成したとか、その結果、何票対何票という、これは当然導入されるかなと思うんですが、それから、先ほど出たモニターの類い、当然そうなんですけど、モニターだと、多分電子ベースで資料を作れる人じゃないとやれないんで、書画システムといって、昔でいうOHPみたいな、紙をかざすとそのまま投影されるというシステムが、そういうのを導入しているところもあるようなので、それも検討していただきたい。

それで、あと、すみません、そのモニター類は、委員会のときも使えるように、全員協議会室をもし委員会で使うなら、全員協議会室にもあるといいなと思います。それから、やはり今、議会事務局に頼んで上げてもらってみたいじゃなくて、もう自分で自由にできるよう

なやり方がいいなと思っています。

それから、議場、全員協議会室、議員控室の机に充電機能を持たせてほしい。このタブレット。

それから、椅子と机なんですが、議員控室も、ああいう応接用ではなくて、もう少し執務できるような、事務机とか事務椅子みたいなのが個人的には使いやすいかなと。贅沢を言うと、なお、ある程度リラックスできると、そのほうがいいかなと。

それから、あと、全体的に、だから、さっき可搬式という話をしましたけれども、基本、椅子はキャスターつきで自由に動かせるようにしておくということ。

あと、正副議長室って必要なんですかね。私、ほとんど使われていないように思うんですよ。なんで、そこも一度検討してもいいのかなと。その分ほかの機能に使えるのかなと思いました。だから、正副議長が、例えば誰か来るのは、応対するのは応接がありますし、そこに例えばまとめられないのかなとか、あと、議員控室は、会派ごとに部屋をつくるかどうかというのは、いろいろ意見があると思うんですけども、ある程度まとまりというか、島を持たせるようなことも、それは動かせばいい話なんで、ことも、少しテーマとしてあるかなと思いました。

以上です。後で文書を出しますので、私からは以上です。

○上野尚徳委員長 続いて、武藤議員。

○武藤倫雄議員 フロア全体についてなんですが、山野議員からもありましたけれども、各部屋それぞれ現行より狭くなっているんですね。この図面でいうと、青字が現行の面積で、赤字が計画面積ということなんですが、イメージですと、10平米減ると6畳1間減るというイメージです。この全員協議会室でいうと13平米減りますんで、単純にそっちから2メートルなくなるぐらいで、議場においては30平米狭くなりますんで、6畳間3つ分、あそこからなくなるというような計画になっているんですが、ゆったり優雅に過ごしたいわけではないんですが、必要な機能であるとか距離感というのがどのように確保されていく計画なのか、どういった工夫で面積の狭さをカバーできるのかというところがまず1点目で、2点目としては、これ、フロア全体でトイレ1か所なんですね。そうすると、来庁者の方、傍聴者の方、議員、職員、みんなこの1か所に行くという形になるんですが、これだけの面積があるんであれば2か所あってもいいんじゃないかなというのが率直なところなんですけれども、大きくはその2点ですね。何か今お答えできることがあればいいですし、後日になるようでしたら、後日ご回答いただければと思います。

○上野尚徳委員長 今回の段階で、趣旨を確認したかったりだとか、お答えいただけるようなことがありましたら、持ち帰る分は持ち帰る分で結構です。

D X 推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X 推進・新庁舎整備室長 武藤議員の議場の面積の部分でお話ししますと、今の面積よりも確かに小さくはなっているんですけども、現状の議員の数で考えたときに、面積の試算、1人35平米……。当初、議員がもう少しいらっしやったかと思います。議員定数が少し減りまして現状の配置になっているかと思うんですが、そういった部分で、現状の議員の数に対して、ある程度必要な面積というようなものを掛けた形、総務省基準に基づく計算がございまして、それを参考にさせていただいて、議会エリアとしての面積を試算させていただいている経緯がございます。

あと、すみません、トイレにつきましては、やはり使っていただく部分の中で、端に1か所しかないという部分ですので、こちらについても、検討させていただければと思います。

○上野尚徳委員長 一通り。

○武藤倫雄議員 そうですね。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

戸張議員。

○戸張光枝議員 図面の中で、左側に階段室というのがありまして、紺色の矢印があるんですけども、これは非常口みたいな捉え方でよろしいのでしょうか。議場の左側です。

○上野尚徳委員長 D X 推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X 推進・新庁舎整備室長 こちらの階段室でございまして、通常の階段にならない、室と書いてあるので部屋のような感じに取られるかと思うんですが、通常の職員が使ったりするような昇降する階段のスペースということになります。

○上野尚徳委員長 戸張議員。

○戸張光枝議員 この紺色の矢印はどういう意味なんでしょうか。ここから入れるということ、職員の方が。

○上野尚徳委員長 D X 推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X 推進・新庁舎整備室長 こちらにつきましては、動線の色分けしているのが、紺の色は職員の移動ですので、職員につきましては、議場に入る部分につきましては、階段を利用した形で議会のフロアに入らせていただくというような、そういう想定で、矢印を色分けした上で示させていただいております。

○戸張光枝議員 分かりました、すみません。

以上です。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 一応確認もあるんですけども、今、先ほど、議会事務局の隣なんですけれども、共用部屋、相談というのが2室あると。これは本当に2室でいいかどうか。1室あれば、こっちの議会事務局を広くできるとか、いろいろあるんで、2室を1室にしてもいいんじゃないかなということも検討していただければと思います。

それと、今の議場ですと、フラットではなくて、要は議員の側が今度、後ろ、執行部も後ろのほうはより高くなっているけれども、これもフラットの前で、もう全て全くの同じ高さになる。そうすると、2列目の、議員の2列目辺りは、さっきおっしゃったような椅子と机が高いようなのにするのかどうかということも若干はあります。

それと、よく予算特別委員会とか決算特別委員会で、全員協議会室でやっているときに、職員の方が会議室1あたりに準備して入るという想定でいいのかどうかということですね。あと、大体それだけです。検討していただければと思います。

○上野尚徳委員長 今の内容で、現段階で答えられる、確認したい部分は。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 議場の議員がお座りになるような席は、基本床がフラットということになりますので、2列目がなかなか見づらくなってしまうような部分があるかと思うんですが、なかなか家具で段差をつけるというのも、現状難しいような部分がございます。議員の席の配置を例えば、横1列というよりは隙間でつくって、間で見えていくような配置とかを検討させていただくような中でとは現状考えているんですけども、いろいろな事例等も参考に、これから調べていきたいとは思っています。

○上野尚徳委員長 大野議員。

○大野興一議員 議場を議論する場と考えていきますと、発言席が執行部側と議員側2つあるというのは、非常にいいことだと思います。

そしてもう一つは、議長の位置というのは、ここでフロアを変えたりいろいろしていますが、基本的に、やはりそうすると、議論をジャッジ、裁定をする立場という議長の位置は、2つの発言の真ん中とか、に置くべきではないのかなと考えますと、その2つの発言席の右か左か、どこかそういう位置にしたほうがよろしいのではないかなと思います。そういうスタイルが、私もオーストラリアのカブルチャーという小さなまちの議場を見てきたとこ



ろでいいますと、やはりそういう、議長の位置は議員と執行部の真ん中にあるというようなふうになっておりましたので、その辺の私の勝手な意見ですので、適当に考えてみていただければと思います。

以上です。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 すみません、今の位置の確認なんですけれども、議長がいます。議長から向かって右と左で、執行部、右、例えば議員左みたいな、そういう配置というイメージでよろしいでしょうか。

○上野尚徳委員長 大野議員。

○大野興一議員 この図の2のところで行きますと、右か左の位置に議長が、要するに、今の議長の位置というのは、やはり一つの権威をと、議長というものに権威をつけている、そういう内容だと思うんですね。それが議論する場という位置づけに考えていくと、少しここで考えてもいいのかなということでもあります。

○上野尚徳委員長 大野議員、検討してもらおうということでよろしいですね。

○大野興一議員 いいです、私の意見ですから。

○上野尚徳委員長 山野議員。

○山野智彦議員 議員席の重なって見えないところの話が出ていますので、アンケートに書いて出すつもりではあったんですけれども、ここで発言します。狭山市役所とかを見てきたときに、議員席の最前列の真ん中に質問席がやっぱりあって、その席の幅は、普通の議員席の幅よりも少し広めにしてあって、資料とかも十分置けるようなスペースを取っていて、これがいかなと思っているんですけれども、最前列の真ん中に1.5人分のスペースを取って質問席にする。2人分を2列目の後ろの左右に配置する。そうすると、ずれて座れるので、それもいかなと、一つかなと思いましたので、一応発言させていただきます。

○上野尚徳委員長 回答はよろしいですね。

ほかにありますか。よろしいですか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 今、現状いろいろ話が出たんですけれども、今回持ち帰っていただいて、今回の意見を再検討していただいて、修正なりしていただければなど、まずは思います。そういった中で、議会としての結論が求められるものに関しては、また戻していただければと思います。

その中で、今回は、取り急ぎとして、確認でもあるんですけども、段階1の設計概要ということで、一般質問最終日に回答を求められているという認識なんですけれども、今、様々意見が出た中で、段階2、段階3のものを前倒しにしないでいいとか、例えば今、設備関係の話がかなり出てきているんですけども、今、段階3でということなんです、予算の組み方だとか、そこで、例えばマイクを全部、今、やる設定になっていないから、全部やるんだと、例えばそういうデザインだとか、そういうところにも関わってくるよというものがあるようでしたら、この段階2、段階3等の修正をしていただいて、今度また新庁舎建設特別委員会で、またもまなくてはいけないので、その辺の修正もお願いできればと思います。

その辺はどうですか。そういう方向性で、執行部はよろしいですか。

暫時休憩します。

休憩 午前10時42分

再開 午前10時47分

○上野尚徳委員長 休憩を解いて会議を再開いたします。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史D X推進・新庁舎整備室長 今回、委員の皆様、議員の皆様から多数ご意見等をいただきましたので、この段階1、段階2、段階3、それぞれいただいたご意見がどのタイミングで検討していくべきかという部分をこちらで整理させていただいた形で、議員に、取り急ぎ、まず1段階目、そちらの検討材料とさせていただきたい部分については、早急に内容を整理しまして、お返しさせていただいて、議員で議会としてのご意見、取りまとめたいただきたいと考えますので、そのような形でよろしく願いいたします。

○上野尚徳委員長 ほかにございますか。大丈夫ですか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 発言がございませんので、次に移ります。

次に、その他に移ります。

議会エリアの検討事項についての回答は、12月5日、一般質問3日目の午後5時までに、会派ごとに事務局へご提出ください。なお、回答する様式につきましては、事務局よりメー

ルにて送付いたします。

ほかに何かございますか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 なければ、次回の日程について協議したいと思います。

今回は、定例会の最終日、12月10日、本会議終了後に開催したいと思います。よろしいでしょうか。

[「それは委員だけでしょう」と言う人あり]

○上野尚徳委員長 委員だけです。

執行部もよろしいですか。

ほかに何かございますか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 なければ、ここで執行部及び参考人の退席をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時49分

再開 午前10時50分

○上野尚徳委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

以上で本日予定されていた内容は全て終了しました。

閉会の前に、副委員長より挨拶をお願いします。

○青木久男副委員長 本日は本会議終了の後、お時間をいただきまして大変ありがとうございました。有意義な会議になったかなと思います。どうもありがとうございました。

○上野尚徳委員長 以上をもちまして閉会といたします。

お疲れさまでした。

閉会 午前10時51分